

サルモネラ属菌

- ・原因物質

サルモネラ属菌（例 *Salmonella enteritidis*、*S.typhimurium*）

- ・特徴

牛、豚、鶏など家畜・家禽の腸管や河川など自然界に広く分布しており、特に鶏肉や卵は汚染している場合があります。サルモネラ属菌は、乳幼児や高齢者などに感受性が高く、急性胃腸炎症状のほか菌血症などを引き起こすこともあるので注意が必要です。

- ・原因食品

卵、食肉など

- ・潜伏期間

6～48時間（平均12～18時間）

- ・症状

38℃以上の高熱、腹痛、水様性下痢等